⑶　減損の認識に至った経緯及び理由

新国立競技場の整備については、平成27年７月17日に安倍総理が整備計画をゼロベースで見直す旨を発表しました。

これを受け設置された「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」において、８月28日に新たな整備計画が策定されました。

これにより、旧整備計画に係る建設仮勘定は使用されないこととなったため、減損を認識しました。

⑷　算定方法等の概要

当該資産は、売却処分は困難であり、今後の使用予定がないことから、回収サービス可能価額は０円であり、減損額は6,369,104,812円であります。

減損額のうち、損益計算書に計上している金額はありません。

〔不要財産に係る国庫納付等関係〕

①	資産種類		スポーツ振興基金
②	資産名称		現金及び預金
③	帳簿価額	⑴取得価額	1,250,000,000円
		⑵減価償却	―
		⑶帳簿価額	1,250,000,000円
④	不要財産となった理由		スポーツ振興基金に充てるため政府が出資した金額について、財政資金の有効活用を図るため、平成27年度から32年度までの間に段階的に相当額を国庫に納付するとの方針が国から示されたからです。
⑤	国庫納付等の方法		現物納付
⑥	譲渡収入の額		―
⑦	控除費用		―
⑧	国庫納付等の額 納付等年月日	⑴国庫納付額	1,250,000,000円
		納付年月日	平成28年３月31日
		⑵地方公共団体への払戻額	―
		納付年月日	―
		⑶その他民間等への払戻額	―
		納付年月日	―
⑨	減資額		1,250,000,000円
⑩	備考		―

利益の処分又は損失の処理に関する書類

利益の処分に関する書類

（投票勘定）　（単位：円）

Ⅰ　当期未処分利益		1,233,807,440
当期総利益	1,233,807,440	
Ⅱ　利益処分額		
積立金	1,233,807,440	1,233,807,440

損失の処理に関する書類

（災害共済給付勘定）　（単位：円）

Ⅰ　当期未処理損失		983,743,585
当期総損失	983,743,585	
Ⅱ　損失処理額		
前中期目標期間繰越積立金取崩額	897,530,750	
積立金取崩額	86,212,835	983,743,585
Ⅲ　次期繰越欠損金		―

利益の処分に関する書類

（免責特約勘定）　（単位：円）

Ⅰ　当期未処分利益		565,186,852
当期総利益	565,186,852	
Ⅱ　利益処分額		
積立金	565,186,852	565,186,852

利益の処分に関する書類

（特定業務勘定）　（単位：円）

Ⅰ　当期未処分利益		3,237,163,003
当期総利益	3,237,163,003	
Ⅱ　利益処分額		
積立金	3,237,163,003	3,237,163,003

利益の処分に関する書類

（一般勘定）　（単位：円）

Ⅰ　当期未処分利益		206,431,817
当期総利益	206,431,817	
Ⅱ　利益処分額		
積立金	206,431,817	206,431,817

附属明細書、勘定別財務諸表及び事業の種類別セグメント情報については、独立行政法人日本スポーツ振興センターのホームページ（http://www.jpnsport.go.jp/）上で、開示しております。